



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月6日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2406 URL <https://www.arte-hd.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 栄義  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 坂口 満春 TEL 045-663-6123  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,985	0.8	41	—	82	—	52	—
2020年12月期第1四半期	1,970	1.1	△3	—	0	△99.6	△12	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 52百万円(—%) 2020年12月期第1四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	5.29	—
2020年12月期第1四半期	△1.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	9,361	2,705	28.9
2020年12月期	8,347	2,673	32.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 2,705百万円 2020年12月期 2,673百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,090	13.8	35	—	35	△27.1	0	—	0.00
通期	8,700	10.6	400	224.0	400	31.8	210	—	21.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期1Q	10,300,000株	2020年12月期	10,300,000株
2021年12月期1Q	399,743株	2020年12月期	399,743株
2021年12月期1Q	9,900,257株	2020年12月期1Q	9,900,257株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日~2021年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。感染拡大の防止策を講じつつ社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待される一方で、内外の感染拡大による下振れリスクや金融資本市場の変動等の影響につき注視が必要な状況にあります。

美容室業界におきましては、2020年4月の緊急事態宣言発令時には顕著な影響を受けましたが、コロナ禍にあってもサービスへの需要は底堅く、来店客数等は回復傾向にあります。しかしながら、2021年1月に全国11都府県を対象に緊急事態宣言が再発令、首都圏1都3県においては再延長され3月に解除されたものの、その後の感染再拡大により、4月には4都府県において3度目の緊急事態宣言が発令される状況の中、消費者の巣ごもりや節約意識の高まりによるセルフカラーや来店間隔の長期化が進み、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、環境衛生業としての社会的責任を果たし、お客様や従業員の安全と健康を守るため、感染拡大防止策としてアルテグループ「3Sオペレーション」の徹底を図り、安心してご来店頂けるようメニューの構成やキャンペーン等を積極的に実施しております。

当社グループは、複数のブランドを展開し、事業会社ごとに顧客の多様なニーズに応じております。高品質なサービスをリーズナブルな料金で提供するアッシュ、ニューヨーク・ニューヨークなどのデザイン系サロンを中核に置き、定期的なヘアメンテナンスの需要拡大を背景にエコノミーな料金で施術サービスを行うChoki Petaブランドの出店展開も行っております。当社グループは、それぞれの事業会社・ブランドごとにより安心・安全な店舗の衛生管理を徹底した上で、営業活動を展開すると同時に、経営理念「地域のお客様に美と健康と若々しさを提供し、当社グループに関わるすべての人と共に幸福社会を築いていける会社づくりを目指す」を旗印に、グループの結束力を強化し、経営の効率化や地域一番店を目指すための諸施策を実施しております。

コロナ禍の影響の長期化が想定される中、新たなメニューへ取り組み、来店促進対策やPB商材販売強化等の客単価アップ施策を中心に展開すると共に、ウェブ会議や技術教育のオンライン化・デジタル化を更に進展させ、業務の効率化や情報のスピード化を図り、現場生産性の向上につなげるなど、グループの更なる成長を支える収益基盤の強化に取り組んでおります。

デザイン系サロンにおいては、新規顧客来店施策として、SNSを利用したスタイリストの美容情報の発信強化や、新たなWebマーケティング戦略を展開し、増客に繋げております。また、既存顧客を含めて、自社ホームページでの来店施策を重視し、サロンごとの特色を活かした魅力あるコンテンツにより閲覧数・閲覧時間の増加を図るとともに、Web予約システムやメール会員獲得による集客の強化に取り組んでおります。

単価アップ並びに固定顧客増加の施策としては、他のサロンと比較した技術の優位性を体感していただくため、ワンランクアップのつや感を演出するカラー施術、デザイン性を重視したパーマ施術を強化していきます。また、美容室の雰囲気や対応力を重視する大人客を囲い込むための接客力の強化や髪質改善の付加価値メニューの組み合わせによる単価アップについても進めております。

更に、様々なPB商品を展開し、人や地球環境にやさしい天然由来成分配合のオリジナルのヘアケア&スキンケアの新ブランド「ennic(エニック)」シリーズについては、サロン店頭に加え、外部ECサイトや首都圏の大手百貨店でのポップアップ販売等、販路を拡大し、ブランド認知の向上を図っております。

メンテナンス系サロンのChoki Petaは、商業施設への出店を中心に進めることで、買い物ついでに短時間かつエコノミー料金で、伸びた分の髪のカットとカラーのサービスを提供しております。また、2020年度より「セルフドライ」を導入し、店舗運営の効率化により顧客の待ち時間や施術時間の短縮につなげることで、さらに利便性を高め、ライフスタイルに密着したサービスを提供しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社主要子会社のチェーン売上高は、株式会社アッシュ「以下、Ash」が前年同期比99.2%、株式会社ニューヨーク・ニューヨーク「以下、NYNY」が同110.1%、株式会社スタイルデザイナー「以下、SD」が同97.6%、株式会社C&P「以下、C&P」が同99.4%となりました。また、当社主要子会社の入客数は、同96.6%となっております。以上により、当社グループチェーンの全店売上高合計は、4,114百万円(同100.4%)となっております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結子会社店舗数は、330店舗(Ash127店舗、NYNY41店舗、SD97店舗、C&P55店舗、株式会社ダイヤモンドアイズ10店舗)となり、海外店舗数1店舗(シンガポール共和国)を加え、当社グループ店舗数は、331店舗となりました。なお、NYNYが展開する関西圏のChoki Petaの店舗数は、10店舗となっており、グループにおけるFC店舗数は、225店舗(Ash106店舗、NYNY20店舗、SD97店舗、C&P2店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,985百万円(前年同期比100.8%)、営業利益は41百万円(前年同期は営業損失3百万円)、経常利益は82百万円(前年同期は経常利益0百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は52百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円)となりました。

当社グループは、美容室チェーン展開を行う事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、928百万円増加し3,654百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の増加1,107百万円、売掛金の減少75百万円、立替金（四半期連結貸借対照表上は流動資産「その他」で表示）の減少96百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、86百万円増加し5,707百万円となりました。

これは主として、新規出店、移転、改装等による建物（純額）の増加69百万円、工具、器具及び備品（純額）の増加17百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,014百万円増加し9,361百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、1,100百万円増加し3,894百万円となりました。

これは主として、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う手元流動性の確保を目的に調達した短期借入金の増加1,500百万円、未払金の減少371百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、118百万円減少して2,761百万円となりました。

これは主として、設備投資資金として調達した長期借入金の減少121百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、982百万円増加し6,656百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、32百万円増加し2,705百万円となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益52百万円の計上、配当金の支出19百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.0%から28.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年2月9日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,195,214	2,302,946
売掛金	422,352	346,993
商品	145,259	137,911
貯蔵品	14,701	13,563
その他	954,243	857,218
貸倒引当金	△5,024	△3,815
流動資産合計	2,726,749	3,654,818
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	6,479,813	6,500,856
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,647,405	△3,598,639
建物(純額)	2,832,408	2,902,216
車両運搬具	26,623	26,861
減価償却累計額	△16,306	△17,221
車両運搬具(純額)	10,316	9,639
工具、器具及び備品	1,409,650	1,426,333
減価償却累計額及び減損損失累計額	△963,983	△963,591
工具、器具及び備品(純額)	445,667	462,742
土地	136,182	136,182
リース資産	18,021	18,021
減価償却累計額	△3,754	△4,505
リース資産(純額)	14,267	13,516
建設仮勘定	367	33,371
有形固定資産合計	3,439,209	3,557,669
<b>無形固定資産</b>		
のれん	211,186	205,387
その他	69,421	64,366
無形固定資産合計	280,607	269,754
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	1,408,276	1,392,770
その他	497,530	491,930
貸倒引当金	△5,353	△4,950
投資その他の資産合計	1,900,453	1,879,749
固定資産合計	5,620,270	5,707,173
資産合計	8,347,019	9,361,991

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	98,446	90,338
短期借入金	150,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	532,455	510,414
未払金	1,722,424	1,351,126
未払法人税等	46,214	22,541
賞与引当金	4,128	4,971
株主優待引当金	28,815	28,815
資産除去債務	17,410	11,521
その他	194,105	225,229
流動負債合計	2,794,000	3,894,958
固定負債		
長期借入金	2,040,030	1,918,260
株主優待引当金	3,262	3,262
退職給付に係る負債	72,279	71,343
資産除去債務	549,855	560,520
その他	214,487	208,065
固定負債合計	2,879,914	2,761,451
負債合計	5,673,915	6,656,410
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	498,000	498,000
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,426,357	1,458,933
自己株式	△113,425	△113,425
株主資本合計	2,671,223	2,703,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,880	1,781
その他の包括利益累計額合計	1,880	1,781
純資産合計	2,673,103	2,705,581
負債純資産合計	8,347,019	9,361,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,970,592	1,985,569
売上原価	1,497,482	1,497,151
売上総利益	473,109	488,417
販売費及び一般管理費	476,382	446,660
営業利益又は営業損失(△)	△3,273	41,757
営業外収益		
受取利息	627	360
受取手数料	3,138	1,331
貸倒引当金戻入額	1,763	1,613
受取補償金	—	7,170
助成金収入	1,540	30,608
その他	1,271	5,240
営業外収益合計	8,342	46,326
営業外費用		
支払利息	3,328	4,216
その他	1,581	1,571
営業外費用合計	4,909	5,788
経常利益	158	82,295
特別利益		
受取補償金	—	15,184
特別利益合計	—	15,184
特別損失		
固定資産除却損	493	612
店舗閉鎖損失	3,218	1,291
減損損失	4,248	17,621
資産除去債務履行差額	1,931	614
その他	—	514
特別損失合計	9,892	20,653
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,733	76,826
法人税、住民税及び事業税	17,908	20,240
法人税等調整額	△15,596	4,209
法人税等合計	2,312	24,449
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,045	52,376
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,045	52,376



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△12,045	52,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131	△98
その他の包括利益合計	131	△98
四半期包括利益	△11,913	52,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,913	52,277

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)においては、「新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しは、2021年春以降に収束に向かう」と仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りをしておりましたが、当第1四半期連結会計期間後に発出された緊急事態宣言の影響等が一部店舗において引き続き生じていることから、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しは、2021年12月期連結会計年度にかけて徐々に収束に向かうとの仮定に変更しております。

この結果、四半期連結財務諸表への影響はありません。また、当社グループ全体に重要な影響を及ぼすものではありません。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積り・判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。